

【日本の名木と伝承を明日へ紡ぐ】

2023
10.11
月号

木魂子

広報
こだまっこ
kodamakko

玉木造の
伝承語り

家康の大樹

全5回其の四 家康、清洲同盟のもと武田信玄の猛攻に耐える

木ノモノ語り

【栃拭漆稜線盛器】

木匠・漆工・職人／甲斐幸太郎さん

しごとひと

【木エアーティスト】

木彫師／多胡歩未さん

名木探訪

【楠宮稲荷社】の御神木

兵庫県神戸市

神の化身「アカエイ」を祀る、名社・長田神社末社の御神木

スポットライト

環境省「きんぎ環境館」

木と空と土と

記念日と誕生日365+1の樹
「記念樹」を知っていますか？

杉案内人
高桑進の
（京都女子大学
名誉教授）
お話し
【前編】

公式サイト&ロゴをリニューアルしました

銘木総研は、
おかげさまで
設立3周年。

表紙の名木

兵庫県神戸市長田区・推定樹齢800年以上

【楠宮稲荷社の御神木】

長田神社の本殿裏手にある末社・楠宮稲荷社の奥に立派なクスノキの大木があり、御神木として尊ばれています。幹の周囲約5メートル、高さは30メートルを超え、推定樹齢800年以上といわれています。このクスノキには神の化身であるアカエイが宿ると伝えられており、境内にはアカエイが描かれた絵馬が多数奉納されています。

（詳しくは本誌「名木探訪」をお読み下さい）

名木伝承データベースも
ご参照ください



THE
インタビュー しごとひと
ARTISAN

「木エアーティスト」

木のおもちやarumitoy(アルミトイ)

(京都府木津川市)

多胡歩未さん

たごあゆみ

自然と共に生きていくことが
ずっと生きていける方法

「100年後の子どもたちに森をつなげる」というビジョンを掲げ、京都府木津川市で安全と環境にこだわった木のおもちやと木工作品を数々生み出している多胡歩未さん。企画・デザインから作品の制作、販売までおこなう多胡さんの仕事にかける想いを伺いました。

なぜ日本では珍しい木のおもちや作家に？

「自分をつくったもので子どもたちを喜ばせたい」という想いから木のおもちや作家を目指しました。時代と逆行している、と周りからは全く理解されませんでした。が、「自然と共に生きていくことこそがずっと生きていける方法だ」と確信がありました。

住宅街で育ち、自然にはあまり触れる機会がなかったのですが、潜在的に子どもたちのころから環境に興味があり、自然と共に生きることに関心していました。大量生産・

当時は、木工のおもちやのつくり方を習得できる場所が日本になく、本で情報を探し、ドイツ語で電話をかけて修業先を探しました。



制作中の多胡さん

多胡さんは、木のおもちやarumitoy代表。武蔵野美術大学短期大学部を卒業後ドイツで2年半の間、修業を積み、京都府の加茂市で2004年にarumitoy(アルミトイ)をオープン。「グッド・トイ賞」ほか受賞多数、木工歴20年。

聞き手・撮影／
中井 莉沙
(文中敬称略)

ドイツでは木工はもちろん生き方や価値観を学べたことが大きかったですね。環境に配慮された生き方に感動し、環境に対する自分の考えが合っていたんだと思えた場所でした。2年半の修業後、自然に囲まれたこの加茂町でarumitoyを開きました。

作品のこだわりを教えてください。

一番はオリジナリティがあって自分らしいかどうか、自分の作品として納得しているかどうかですね。

わたしにとっておもちゃは、子どもの創造力や可能性を引き出すものであってほしいので、遊び方を特定しない、大人も楽しめるおもちゃをつくっています。

木のおもちゃの魅力はなんだと思いますか？

何代にもわたって使える



絵本「たましいのおうち物語」。ストーリーをつくり、木工作品をつくり、それを撮影する、という気が通くなるような手間ののかかった写真絵本。



のが木のおもちゃです。そして音や触った感じは、木にか生み出せないものがあります。赤ちゃんはそこから吸収することもあるから、やはり木という素材を使うことは大事だと思います。

この先どんな活動を？

ずっとおもちゃをつくり続けていましたが、数年前からおもちゃの域から出ない



グッド・トイ受賞の赤ちゃんのガラガラ動物、クォーター、ふた、ひつじ、かえる、きりんがいます。もちろん、赤ちゃんが猛りても安全です。

と次のステップには行けないと感じ、絵本や漆塗りの作品など、アートの分野に幅を拡げました。

今までは主に子どもたちに対して木の在り方や環境のことを伝えていましたが、これからは木を切り口にして、より多くの方にいのちのことまで伝えていきたいです。

わたしは、森と人間関係は同じだと思っています。人間関係に悩んだとき、森はどういう風に存在しているのかを考えます。森は様々な動物

や植物・環境が共存し、許容されています。大人は絶対に避けて通るぬかるみも子どもはそれを喜ぶように、誰かが嫌がるものも、他の誰かが必要なもので、存在して良いものなんだと木工を通して伝えたいんです。森の在り方を勉強したからこそ気づけたことを、作品やイベントを通じて発信していけたらと思います。

木のおもちゃarumitoy

住所 〒619-1103
京都府木津川市加茂町
岡崎中縄手4-2
TEL 0774-34-0625
営業時間 10:00~17:00
定休日 日・月・水曜日
URL <https://arumitoy.net/>

